

ふれあい情報

2017年 5月26日(金) 第254号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 菅井義夫
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

民進党委員5人が政府を厳しく追及

介護保険制度の改悪許さぬ!

参議院・厚生労働委員会傍聴行動

5月23日、25日

参議院厚生労働委員会で始まった介護保険法等改正法案の審議に対し、5月23日と25日の両日、退職者連合は「介護保険制度の改悪を許さない」として委員会傍聴を行いました。参加者は、委員会で厳しく政府を追及する民進党の5人の委員を2日間にわたって激励しました。

傍聴は、23日が午後2時から3時20分まで、25日が10時から午前中いっぱいまで行いました。

2日間とも傍聴開始前に議面（参議院議員面会所）で集会を開きました。

参加した会員を前に厚生労働委員の民進党・石橋通宏

参議院議員が、委員会の動きや審議のポイントを説明すると共に、「質問への政府の答弁が不十分で厳しく追及していきたい」との決意を述べました。

また、23日には退職者連合の石原喜久副会長があいさつし「皆さんと一緒に

に傍聴行動を取り組んでいきたい」と述べました。25日には連合の伊藤彰久生活福祉局長が連帯あいさつし、現退一致で闘っていくとの決意を表明しました。

退職者連合の傍聴行動には、両日あわせて産別・関連退連、千葉、神奈川退連の会員62人（23日32人、25日30人）が参加しました。また連

<奮闘した民進党のみなさん>

- 足立信也 参議院議員 (大分)
- 川田龍平 参議院議員 (比例)
- 牧山ひろえ 参議院議員 (神奈川)
- 石橋通宏 参議院議員 (比例)
- 川合孝典 参議院議員 (比例)



(写真上)5月23日の議面集会。(写真下)5月25日の議面集会。報告するのは、いずれも民進党の石橋通宏参議院議員(正面)。司会は退職者連合の菅井義夫事務局長(石橋議員の右隣り)。参加者は傍聴行動終了後にも、議面に集合し、取り組みの総括を行った。



石橋通宏参議院議員

退職者連合会員 62 人参加。連合と連携

合も18人(23日6人、25日12人)が参加し、現退連携で取り組みました。民進党からも団体交流委員会の田鹿文隆部長と清水恵美子副部長が応援に駆けつけました。

(注)「介護保険等改正法案」は民進党の反対にもかかわらず25日、自民・公明・維新により強行可決され、翌26日、参院本会議で成立しました。



連合・伊藤彰久局長



ホームページは退職者連合で検索を

退職者連合

検索

徹底審議を求めた民進党

「国民が分からないところで法案審議が進んだ。徹底的な審議が必要だ。どこまで利用者の声が反映されているのか」。石橋委員は、語気を強めて塩崎厚労大臣に迫りましたが、大臣からは、まともな答弁は帰ってきませんでした。政府の態度は、「国民の声など聞く耳持たぬ」という今の国会の状況を物語っています。

政府から聞こえてくるのは、「負担増と給付サービスの削減」のみ。「財務省や財政審の言い分に従っている



▲足立信也理事

参考人に質問。(撮影・足立信也事務所。23日)



▲川合孝典委員

現場で働く介護労働者の実情を明らかにして政府を追及。(撮影・川合孝典事務所、25日)

高齢者の声を無視した「負担増と給付サービスの削減」

【主張】 連続行動から見えてきたもの

退職者連合は、今年の1月から5月にかけて解雇の金銭解決制度の導入反対！厚労省前集会やカジノ賭博合法化阻止の街頭宣伝行動さらに介護保険制度改悪反対の国会傍聴行動を連続して取り組んできました。

菅井義夫事務局長は、これについて25日の行動終了後、次のようなコメントを述べました。

「退職者連合が行動したからこそ、見えてきたものがある。安倍政権は、『日本を世界で一番企業が活動しやすい国にする』として雇用労働法を改悪し、カジノ賭博を解禁し、税と社会保障の一体改革の3党合意を反故にして社会保障制度を先細りさせている。アベノミックスは失敗し、すべて国民生活の犠牲の上で政治を進めている。だれもが生き生きと安心して暮らせる社会にするため、何としても次の衆議院選挙で政治の流れを変えなければならない」

だけ(川合委員)、「今のまま抑制策が続けば社会保障制度は崩壊する(足立委員)」と民進党は警鐘を鳴らしました。

改正案は、介護保険サービスで、現職並みの所得がある人の自己負担割合を2割から3割に引き上げるといふもの。原則1割の利用者負担は、一定の所得のある利用者を対象

に2015年の夏に2割に上がったばかり。これについて「2割負担の影響評価の検証がない。何の根拠のないままなぜ3割負担なのか」(足立、川田、牧山、石橋、川合委員)。民進党の各委員は、厳しく追及しました。



▲牧山ひろえ委員

所得の低い高齢者への支援の必要性を訴える。(撮影・牧山ひろえ事務所)



▲川田龍平委員

3割り負担増の根拠をただす(撮影・川田龍平事務所、23日)



撮影・川合孝典事務所(25日)

▲傍聴席を埋めた退職者連合や連合の参加者(正面)。挙手は民進党の川合委員。